

様

要 望 書

地域の企業活動を支える広島港の物流基盤の強化に関する要望

2017年（平成29年）11月9日

広 島 県
広 島 市
廿 日 市 市
広島商工会議所

平素より国際拠点港湾広島港の整備拡充につきましては、格別のご理解とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

広島県は、重厚長大から先端分野まで多種多様な「ものづくり産業」が集積し、製造品出荷額等が平成26年には、約9兆5千億円と全国の約3%を占める中四国以西最大の工業県であります。

とりわけ、広島港背後の広島都市圏には地域基幹産業である自動車メーカーをはじめ、多くの自動車関連産業が立地しており、その製造品出荷額は、広島県全体の約28%（広島市全体の約54%）を占めております。また、これら自動車関連産業においては、世界的に競争が激化する中、国内における拠点整備や生産性向上に資する設備投資を実施するなど、海外生産拠点のみならず、国内でのものづくり産業の維持・拡充を図っています。

そのため近年、完成自動車の輸出、自動車部品の輸出などの広島港での取扱が急増し、ここ5年間（平成24年から平成28年）で完成自動車の輸出は約1.3倍、自動車部品の輸出は約3倍の増加をしております。また、平成29年の上半期の取扱量においても好調に推移しております。

こうした中、現在、地域の企業活動を支える広島港の物流基盤の強化として、大型の自動車運搬船への対応、コンテナターミナルの機能強化、大規模地震発生時における緊急物資の輸送や企業活動の継続に資する耐震強化岸壁について、国直轄事業による港湾整備を実施していただいているところですが、早期完成が強く望まれております。

また、広島港の臨海部を東西に結ぶ臨港道路廿日市草津線の4車線化につきましても、物流関連企業の進出や大型クルーズ客船の寄港増加など周辺地域における活性化が図られており、本年2月のⅠ期区間の供用に引き続き、Ⅱ期区間の早期完成による全線4車線化への期待がさらに高まっています。

つきましては、地域産業の国際競争力の強化、地域経済の発展のため、平成30年度予算編成に向け、次の事項について強く提案・要望致します。

- 1 地域の基幹産業である自動車関連産業の国際競争力の強化，大規模地震発生時における緊急物資輸送及び企業活動継続のため，広島港宇品地区岸壁（水深12m・耐震）の整備，及び，海田地区のコンテナターミナルの老朽化対策による広島港の機能強化を推進すること。
- 2 港湾物流の円滑化・効率化に資する広島港五日市～廿日市地区の整備（臨港道路廿日市草津線4車線化）を推進するための予算を確保すること。

2017年（平成29年）11月9日

広島県知事

湯崎 英彦

広島市長

松井 一實

廿日市市長

眞野 勝弘

広島商工会議所会頭

深山 英樹

地域の企業活動を支える広島港の物流基盤の強化

ひろしま うじな
広島港 宇品地区（岸壁（水深12m・耐震）【直轄】）

かいた
海田地区（岸壁（水深7.5m・老朽化対策）【直轄】）

いつかいち はつかいち
五日市～廿日市地区（臨港道路（4車線化））

事業効果：地域の基幹産業である自動車関連産業の国際競争力の強化、大規模地震発生時における緊急物資輸送及び企業活動継続、港湾物流の円滑化・効率化等

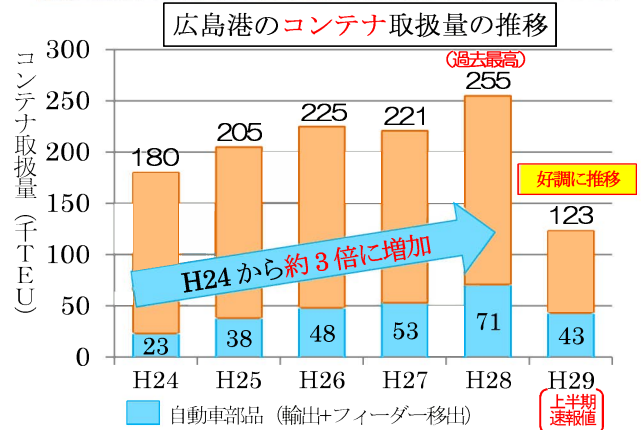
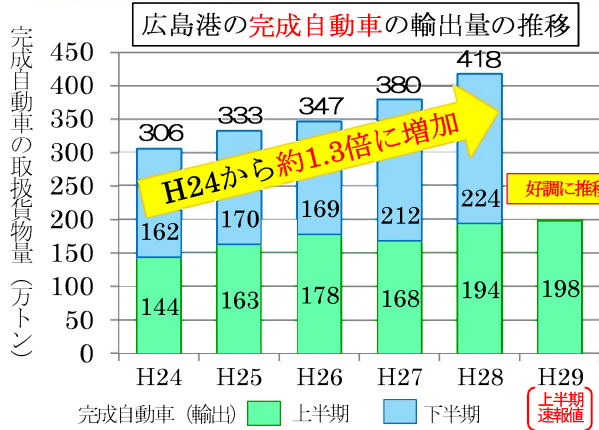
宇品地区

大型の自動車運搬船への対応



海田地区

コンテナターミナルの機能強化



事業箇所図



五日市地区

渋滞状況



五日市地区

物流関連企業の進出



五日市地区

大型クルーズ船寄港回数の増加



H27年度：5回
 H28年度：12回
 H29年度：18回（予定）
 H30年度：28回（予定）